

ボランティアホリデー事務局

訪れる楽しみ、迎える喜び。心に響くふれあい体験。

ボランティアホリデー

～市民ボランティア活動を契機とした、都市と地方の新しい交流のカタチ～



ボランティアホリデー

地域の豊かさを実感してください。
人々のあたたかさにふれてください。
ボランティアホリデーが広げる新しい出会い。
ちょっと遠い親戚をつくりに行きませんか。

ボランティアホリデーとは？

ボランティアホリデーとは、都市部の住民が農山漁村を中心とする地方に短期もしくは長期滞在しながら、ボランティア活動をする新たな交流のカタチです。

ボランティアを通じて地域の役に立ち、地域住民との交流の機会が生まれることで、これまでの観光旅行とは一味違った体験をすることができます。

ここでいう「ボランティア」は、まちづくり、地域産業支援、福祉、教育、文化・スポーツ、環境保全、地域安全活動、国際協力、子供の健全育成等、幅広い分野での活動を言います。ボランティアを通して「役に立ちたい」「学びたい」「地域の人と親交を深めたい」など、様々な目的の方の募集をしています。

ボランティア内容について

◎「地域らしさ」を感じるボランティア

野菜やくだものなど農作物の収穫、森林保全などの環境保護活動、希少動物の飼育手伝い、観光イベントやガイドの手伝い、味噌など地域特産品の加工作業 等

◎あなたの資格や技術を生かしたボランティア

子育て支援、障害者支援、ホームページの制作、小中学校での図書館業務、地域特産品のレシピの開発 等

背景

地方圏、特に都市機能の乏しい中山間地域では、経済の低迷による雇用の減少に加え、過疎化による少子高齢化が進行し、地域活力の低下や地域コミュニティの崩壊が問題となっています。こうした地域では、地域の資源や特性を活かした魅力ある地域再生のあり方が模索されています。

こうした背景から、過疎化の進んだ中山間地域を中心として、定住人口・交流人口の拡大により地域再生を目指す地域が増えており、その施策としては、「農林漁業の体験プログラム」や「都市と地域の交流イベント」といった観光を中心とした短期滞在のものから、「農業研修」や「ワーキングホリデー」といった労働を中心とした長期滞在なものまで、幅広い取組みがされています。「観光立国行動計画」が決定されて以来、長期滞在型の交流人口拡大施策は、観光による地域振興策としても期待されています。しかしながら現在、長期的な交流人口拡大を実現している取組みは多くないのが現状であり、新たな発想による取組みが模索されているところです。

ボランティアホリデー事業は平成 16 年度国土交通省と総務省によって開始

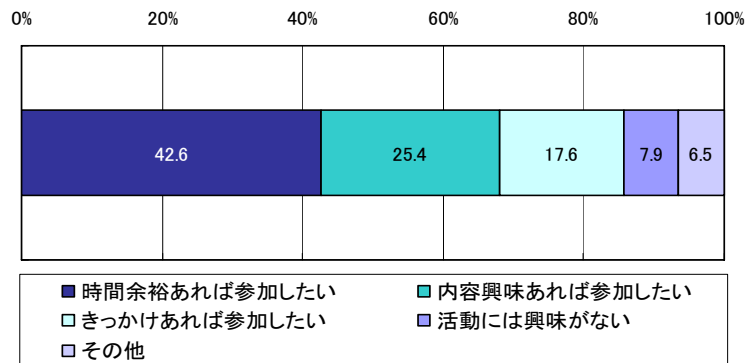
平成 16 年度には、国土交通省と総務省の連携により、「交流人口拡大による地域活力向上のための施策モデル（ボランティアホリデー）構築に関する調査」が実施されました。この調査においては、市民ボランティア活動を契機とした大都市圏と地方圏との一過性ではない長期的な交流人口の拡大を通じて、1) 地域魅力の発掘・創出・発信、2) 地域人材の育成、3) 観光等の交流による経済効果の実現など、「ボランティアホリデー」のしくみの確立を目指し、北海道、東北、四国、九州の計 18 自治体をモデル地域として、官民連携の委員会の立上げ、受け入れ地域と来訪者（大都市住民）のニーズ調査、来訪者の募集方法と適正なプログラム、地域人材の育成、継続的な運営方法等について基礎調査を実施し、その有効性についての分析・検討を行いました。その結果、「ボランティアホリデー」が、①交流滞在の長期化、②地域の個性・独自性の発掘・深耕、③交流の通年化、に有効であり、交流の多面性・密度の向上、リピートや定住・半定住（二地域居住）のきっかけになることが明らかとなりました。

参考：ボランティア活動への参加意向

ボランティア活動に参加してみたいか？

- 参加してみたい（85.6%）
 - 内訳「時間的に余裕があれば参加したい」（42.6%）
 - 「内容に興味があれば参加したい」（25.4%）
 - 「きっかけがあれば参加したい」（17.6%）
- ボランティア活動には興味がない（7.9%）

図表 今後のボランティア活動への参加意向

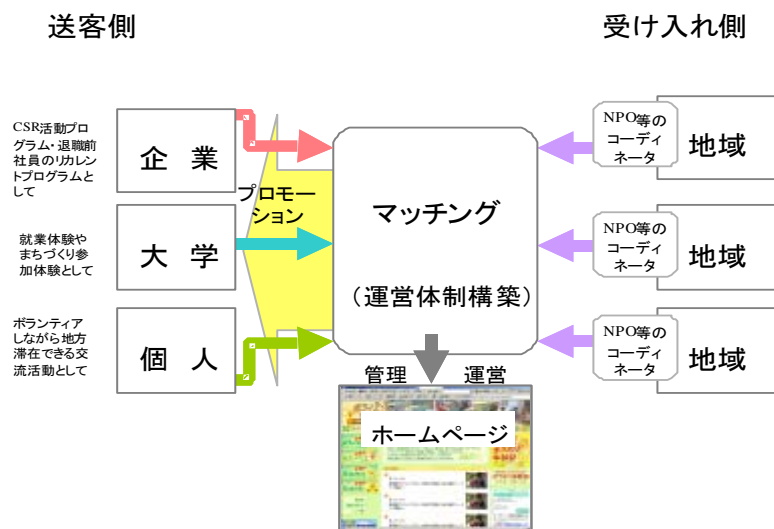


n=1021

（平成 16 年度「交流人口拡大による地域活力向上のための施策モデル（ボランティアホリデー）構築に関する調査」・大都市住民に向けたニーズ調査より）

平成 17 年度は、モデル事業を行った地域で本格的にボランティアの受け入れを実施すると同時に、ガイドラインの作成、送客、受け入れのよりスムーズなしくみの検討と構築、情報発信と PR 等を実施しております。

◆今後の体制に向けたイメージ



「ボランティアホリデー・ポータルサイト」にはボランティア・メニューが 100 件以上！

ボランティアホリデーでは、各地域でのボランティア参加者の募集を「ボランティアホリデー ポータルサイト」で行っております。ボランティアメニューは、このサイト内のボランティア情報一覧で見つけるか、あるいは地域、カテゴリー、時期、キーワードで検索することができます。現在、登録されている地域は、北海道、山形県、高知県、鹿児島県の各市町村です。

ボランティアホリデー・ポータルサイト URL

www.vol-h.org

この度、ボランティアの募集メニューが累計 100 件を突破し、ボランティアとして地方に来ていただく方を大募集しています。募集メニューには、各種農作業の手伝いはもちろんのこと、森林保全などの環境保護活動、タンチョウツルやエゾシカの飼育手伝い、お祭りなどの観光イベントや観光ガイド手伝いなどがあります。

ボランティアホリデー
ボランティアホリデーとは? ボランティアを楽しみたい ボランティアを募集したい

ボランティア情報
観光・イベント情報
宿泊施設
交通機関

新着情報

- 稲刈り補助作業**
【場所】山形県・西村山郡河北町
コンバインによる稲刈りの補助。古代米の稲刈り作業。自然乾燥での収穫を行っているため、刈り取りや杭掛け。
- 菊花切り調整作業**
【場所】山形県・西村山郡河北町
長さを揃える作業や下部の葉落しなどの管理作業や、菊の切り取り収穫や選別、出荷作業を手伝っていただく。
- 茄子の収穫作業**
【場所】山形県・西村山郡河北町

はじめての方へ
ボラホリ体験記
体験者の生の声をお届け
ボラホリ体験談
読む 投稿する

ボランティアを募集したい方は
ボランティア情報登録
メールアドレス:
パスワード:
ログイン
 ログイン状態を維持する
 パスワードをお忘れの方はこちら
 初回登録情報を投稿する方

平成16年度モデル事業報告
モニターツアー紹介
詳しくはこちらから

インターネット

募集地域とボランティア・メニューの一例

美しい自然の中で各地域の特色を活かした、ボランティア活動ができます。

1. 北海道

募集地域： 阿寒町、女満別町、斜里町、常呂町

メニュー： ログハウス製作、タンチョウヅルの保護、エゾシカの有効活用アドバイス、開拓話の聞き取りなど



2. 山形県

募集地域： 山形市、天童市、東根市、河北町

メニュー： 野菜の収穫作業、果樹（りんごやさくらんぼ等）の収穫、箱詰め作業、バラの収穫栽培作業、旧跡案内のお手伝い、山寺地区の環境整備お手伝いなど



3. 高知県

募集地域： 安芸市、夜須町、大方町、四万十市（旧西土佐村）

メニュー： ゆず収穫、地鶏土佐ジローの世話、陶芸教室のための土練り、デイサービスにおける通所介護、天日塩・黒砂糖づくり、パソコン指導、トマトの収穫、まちづくりに関する話し合いへの参加など



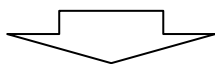
4. 鹿児島県

募集地域： 出水市、阿久根市、高尾野町、東町、長島町、野田町
メニュー： 焼酎の原料のいものへた切り、みかん収穫、牛車引きの黒毛和牛の世話、ブリの出荷作業、味噌作り、ぼんたんの袋取り作業など



ボランティアホリデー、1日のすごし方（例）

朝早起きをして食事をし、ボランティアに出かけます。



ボランティア作業の合間に受け入れ先の人々と楽しいお茶の時間。地元の話に花がさきます。



ボランティアが終わったら、地域の観光をすることもできます。地元の人が教えてくれた穴場を探検。



夜は、その土地ならではのおいしい料理に舌つづみ。地元の人々との交流の機会があるかも。



ボランティアホリデー詳細事項

■応募条件

20 歳以上の男女

■季節と期間

○季節：通年募集

※ただし、ボランティア作業の内容や地域の気候の関係上、受け入れができない時季もあります。

○期間：1 週間以内の短期プログラムから 1 ヶ月以上の長期プログラムまで、メニューによって異なります。

■交通・宿泊について

○交通：各自でご負担いただきますが、お得な割引切符などがある場合にご案内いたします。

○宿泊：公共の遊休施設や地域の民宿など、予算に応じてご案内をいたします。

■ボランティアの作業時間の目安

3～8時間（ボランティア作業の種類によって異なります。）

ボランティアホリデー体験談（昨年度実施・モデル事業より）

「旅行と写真が趣味で、北海道は何度も訪れています。雪の降る中、5 時間あまりかけて鹿よけのフェンスを完成させた時は大きな達成感と充実感を得ることができました。観光するだけでなくボランティアしたり、地元の人と飲みに行ったり。自分はこういう旅がずっとしたかったんだなと感じました。」



「名所旧跡をあわただしく回る旅ではなく、同じ場所にじっくりと滞在できるという部分にひかれて参加しました。地元の方でもなかなか入れない、ツル側の柵の中に入れてだけでなく、ツルが時間と共に気を許してってくれる様子が伝わってきて、言葉にはならない感動を与えられました。」



「自然や農業というテーマで地域の人たちとより深い交流ができれば、と思い参加しました。裏方での作業など、たくさんの貴重な経験をさせていただきました。これまで旅は数え切れないほどしてきましたが、今回ほど地元の人たちの「顔」が見えたことはありませんでした。」

「北海道には何度も来ていますが、ボランティアホリデーでは北海道のイメージをガラッと変えるとてもよい経験ができました。こんなにも地域の人々と触れ合う旅が今まであったのでしょうか。ボランティアだからこそ感じられる気持ち、そして非日常だから感じられるもの、たくさんありました。多くの方がボランティアホリデーを体験できることを願っています。」

「コツをつかむと作業効率が上がることもあり、やりがいを感じました。バラ園の作業は、従業員の方と楽しく作業しました。町のみなさんと一緒にお酒を飲むことができ、とても楽しい思い出ができました。ぜひ、また訪れたいと思っています。」



「今後の生活にボランティア的な要素を増やしたいと思い、参加しました。リンゴを直接収穫してみたいと長年希望していたのが、それをふくよかな富士リンゴで体験できたことはこの上ない満足でした。また、大変親切にしてくれた方々に感謝します。山形の言葉を話す方々と触れながら作業できたことは、大変有意義で人間の幅が広がった感じでした。」

「今回ゆっくり滞在したことで、交流した人々が初めて会った他人なのに、親戚や友達のように思われて、天童が親しみある地名になった。」



「りんごの品評会手伝いは、今まで見たこともないほどの数のリンゴが並べられていて、形・糖度・色によって判定していく過程が面白かったです。ラ・フランスの箱詰めは、パートさんと話しながら作業できるため交流ができ、大変有意義に活動できました。みなさんに親切にさせていただき、嬉しかったです。お互いの地域のことを話したり、聞いたりすることで「交流している」ということを実感できました。」

「農作物の収穫や鶏の世話などを通して食を身近に感じられた。どのボランティアも、もっと長時間、終日やってみたかった。個人のお宅にも民泊させてもらったが、地元の方がみんな温かく、もう安芸は私にとって知り合いのいる場所。また訪れたい。」



【この記事に関するお問い合わせ先】

本プレスリリースに関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

ボランティアホリデー事務局（安藤、藤原、五艘）

（株式会社富士通総研 公共コンサルティング事業部内）

〒105-0022 東京都港区海岸 1-16-1 ニューピア竹芝サウスタワー11階

TEL：03-5401-8396 FAX：03-5401-8439

e-mail：vol-h@vol-h.org

ボランティアホリデー事務局：<http://www.vol-h.org>